

本大会は、徳川家康公400年祭で賑わう静岡県において、全国から1800名の会員が参集して、2日間にわたり開催されました。



大会初日

活動交流部会

10月28日 13時30分～16時30分

次の三つのテーマ別に行いました。活発な情報・意見交換がされました。

- ・ 第1部会 支え合う地域づくり
↳ 新地域支援事業の展開に向けて
- ・ 第2部会 同世代の連帯・仲間づくり
↳ 会員増強運動の推進
- ・ 第3部会 演じる活動 〈舞台発表〉

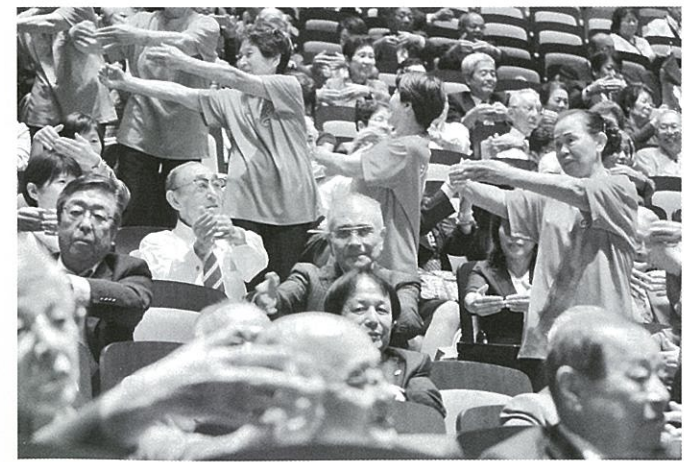
第1・2部会は事例発表を中心とする部会です。中でも、第2部会は視聴覚教材を用い、三つの事例それぞれに自分たちで準備したパワーポイントによる発表がなされ、より立体的に理解することができました。

第3部会では、演じる活動を、全国公募に応じた6老連が舞台発表しました。地元関東ブロックからは埼玉県、千葉県、そして開催地元の静岡県、ほかの地域からは福井県、愛知県、滋賀県という6団体でした。日頃の活動状況、活動を通じた仲間づくり、地域との連携、舞台発表に至る経過などの活動発表があり、舞台発表と併せて画面から総合的に審査のうえ、賞を決定しました。

(詳細は12ページからの報告を参照)



大会会場外観



2日目

講演・式典

10月29日 9時20分～12時

開場と同時に静岡県内のクラブ活動紹介の映像が流れ、続いて地元静岡市老連清水区支部「愛唱歌クラブ」による静岡県の代表曲「みかんの花咲く丘・ちゃつきり節・羽衣・ふじの山」メドレーの楽しい歌声で式典の幕が開きました。

最初に「徳川家康公と久能山東照宮」と題して講演いただきました。講師は、静岡県の久能山東照宮宮司、落合偉洲氏です。(詳細は11ページ参照)

地元の準備したアトラクション、中学生と高校生によるチアリーディングは、若さみなぎる迫力ある演技に、会場内の参加者も元気をいただきました。

式典は、静岡県老連会長の歓迎の言葉で始まり、相次ぐ災害により亡くなられた方々、老人クラブ会員の物故者に対して黙禱が捧げられました。全老連からの挨拶、表彰の後、来賓の方々の祝辞をいただきました。大会宣言が採択され、来年の全国大会について開催地となる富山県から案内されました。最後は、おなじみの「青い山脈」をオープニングで登場したコーラスグループのリードにより参加者全員で合唱し、幕を閉じました。



次回大会案内



歓迎の言葉



宣言朗読



「青い山脈」を会場全員で合唱



アトラクション